

HUAWEI P30 lite

取扱説明書



HUAWEI

目次

便利な機能

ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする	1
端末の管理	1

ご使用になる前に

指紋の登録	6
-------	---

ジェスチャーと操作

スマート認識	7
画面分割	8

ホーム画面

ナビゲーションバー	10
通知パネルとステータスバー	11
画面ロックとロック解除	12
シンプルモード	14
ホーム画面の管理	14

連絡先

連絡先の管理	17
--------	----

電話

基本的な通話機能	18
VoLTE	18

カメラ

基本機能	19
ワイドアパーチャモードを使用して被写体を強調する	19
アニメーション写真を撮影する	19

ギャラリー

ハイライトアルバムのカスタマイズ	21
写真の管理	22

オプティマイザ

モバイルデータ通信量の管理	23
自動起動による不要なアプリの動作の防止	23

カレンダー

カレンダーの操作	24
----------	----

ツール

スクリーンタイムの確認	25
-------------	----

	目次
音声レコーダーを使用した音声メモの作成	25
端末のリセット	25
マルチユーザー	
複数のユーザーの設定と使用	27
デバイス接続	
Bluetooth によるデータの共有	29
端末とコンピュータ間でのデータ転送	29
Huawei Share	30
セキュリティとプライバシー	
指紋	32
位置情報サービスの有効化/無効化	33
PrivateSpace	33
アプリロックの有効化	35
パスワードのキーチェーンを使用する	36
Wi-Fi とネットワーク	
Wi-Fi	37
アプリと通知	
ツインアプリ: 1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン	38
アプリ権限をカスタマイズして端末を自分好みの方法で使用する	38
サウンドと表示	
通知の鳴動制限モードの設定	39
目の疲れを防止するブルーライトカットモードの有効化	39
ストレージ	
メモリのクリーンアップの有効化	41
スマートアシスタント	
ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする	42
システム	
ユーザー補助	43
一般設定	43
システム更新	
オンラインによる端末システムの更新	45
法律上の注意事項	
法律上の注意事項	46
個人情報とデータセキュリティ	47
ヘルプの取得	48

便利な機能

ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする

アプリを閉じたり、ホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動し、ナビゲーションメニュー を有効にします。ナビゲーションメニューが画面に表示されます。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**: ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**: ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**: ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

端末の管理

パスワードのキーチェーンを使用する

パスワードのキーチェーンではパスワードが保存され、入力されるので、端末のアプリへのログインがより安全かつ簡単になります。

パスワードのキーチェーンの有効化または無効化: パスワードのキーチェーンはデフォルトで有効になっています。端末の更新後には、次の手順に従ってパスワードのキーチェーンを有効にします。

- 1 ロック画面のパスワードを入力して、パスワードのキーチェーン設定にアクセスします。 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **パスワードのキーチェーン** に移動します。
- 2 ロック画面のパスワードを入力して、**パスワードのキーチェーン** 画面にアクセスします。
- 3 **パスワードのキーチェーン** を有効にします。最初にアプリにログインした場合、またはログアウト後、**保存** を選択すると、ユーザー名とパスワードが保存されます。次回ログイン時、顔認証など、選択した方法を使用して自動的にユーザー名とパスワードを入力し、アプリにログインします。
- 4 アプリごとに **自動入力設定** を有効または無効にします。アプリの自動入力機能が有効になっている場合、ログイン時に顔、指紋、またはロック画面のパスワードを使用してパスワードを入力できます。この機能が無効になっている場合、ユーザー名とパスワードを手動で入力する必要があります。

 **パスワードのキーチェーンは、バージョンに制限があるため一部のアプリでは機能しません。**

アプリロックの有効化

アプリロック機能では、重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められます。アプリロックによって、プライベート情報をさらに保護するレイヤーが追加され、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化:  **設定** を開きます。セキュリティとプライバシー > **アプリのロック** に移動します。初めてアプリロックを開く場合、**ロック画面のパスワード** または **カスタムPIN** を **アプリのロック** 確認パスワードとして選択します。**アプリのロック** 画面で求められているパスワードを入力して、ロックするアプリを切り替えます。

アプリロックパスワードの設定: **アプリのロック** 画面の  をタップし、**パスワードタイプ** をタップします。**ロック画面のパスワード** または **カスタムPIN** を選択します。

PrivateSpace の有効化

端末で写真などを見せられているときに、個人情報が見られることが心配になる場合があります。PrivateSpaceを使用すると、指紋やパスワードでしかアクセスできない、端末内の保護されたスペースに個人情報を格納することができます。

 **最大3人のユーザーを、端末と PrivateSpace の ユーザー に追加できます。** **設定 > ユーザーとアカウント > ユーザー > ユーザーを追加** に3人のユーザーをすでに追加している場合、PrivateSpace にユーザーを追加することはできません。

PrivateSpaceの有効化: 初めてPrivateSpaceを使用する場合は、 **設定** を開き、セキュリティとプライバシー > **PrivateSpace** > **有効** に移動し、画面の指示に従ってPrivateSpaceを作成します。

 **1ユーザーにつき、1つのPrivateSpaceのみ作成できます。**

MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早くMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。端末の再起動後、まず自分のパスワードを使ってMainSpaceにログインする必要があります。これにより、ロック画面からMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。

PrivateSpaceへの移動: 指紋やパスワードを使用して、ロック画面から直接PrivateSpaceに入ることができます。MainSpaceで  **設定** を開いて、セキュリティとプライバシー > **PrivateSpace** > **ログイン** からPrivateSpaceに移動することもできます。

PrivateSpaceの終了: PrivateSpaceを終了すると、PrivateSpaceが使用するすべてのシステムメモリが解放されます。必要に応じていつでもPrivateSpaceに切り替えることができます。PrivateSpaceを終了するには、 **設定** を開いて、セキュリティとプライバシー > **PrivateSpace** > **終了** に移動します。

PrivateSpaceの削除: PrivateSpaceを削除すると、PrivateSpace内に格納されているすべてのアプリとデータが完全に削除され、このデータを復元できなくなります。PrivateSpaceは以下の方法で削除できます。

- MainSpaceから  **設定** を開き、セキュリティとプライバシー > **PrivateSpace** に移動し、 **PrivateSpaceを削除** をタップします。

- PrivateSpaceから  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **削除** に移動します。

ホーム画面の壁紙の設定

デフォルトの壁紙を変えたいことがあります。お気に入りの写真をホーム画面の壁紙として設定し、ホーム画面をカスタマイズできます。

 **設定** を開いて、**ホーム画面と壁紙** > **壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

画像をホーム画面の壁紙として設定する: **ギャラリー** をタップするか、またはお好みの画像を選択し、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、もしくは **両方** を選択します。

ギャラリーで写真を壁紙として設定: 素敵な写真を壁紙として設定したいときがあります。  **ギャラリー** で、お気に入りの写真を開いて、**⋮** > **登録** > **壁紙** に移動し、画面上の指示に従ってホーム画面の壁紙としてその写真を設定します。

ホーム画面のウィジェットの管理

画面ロック、天気、メモ帳、時計、連絡先、またはカレンダーなどのウィジェットをホーム画面にすばやく追加したい場合があります。ホーム画面を使いやすいように整理するために、ホーム画面上でウィジェットを追加、移動、削除することができます。

ウィジェットの追加: ホーム画面を指でピンチインすると、ホーム画面の編集モードが起動します。**ウィジェット** をタップし、ウィジェットを長押ししてホーム画面上の何もない領域までドラッグするか、該当のウィジェットをタップします。



- ① ホーム画面上にウィジェットを配置するための十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、空の画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

ウィジェットの削除: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、**削除** を選択します。

ウィジェットの移動: 端末が振動するまで、ホーム画面上のウィジェットを長押しします。ウィジェットを画面上の好きな場所にドラッグします。

アプリドロワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納して、すっきりとしたホーム画面にすることができます。ホーム画面でアプリドロワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

 **設定** を開き、**ホーム画面と壁紙** > **ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドロワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

- ① **アプリドロワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する:** アプリドロワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリリストを開きます。アプリリストで、追加するアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら、そのアイコンをホーム画面上の目的の位置にドラッグします。

メモリのクリーンアップの有効化

ストレージの空き容量が少なくなると、時間の経過とともに端末の動作が遅くなることがあります。メモリのクリーンアップを使用してストレージの空き容量を確保することで、システムパフォーマンスを向上させ、端末のスムーズな動作を維持できます。

 **オプティマイザ**を開き、**クリーンアップ**をタップしてメモリをクリーンアップし、キャッシュをクリアすることで、パフォーマンスを最適化します。それでもストレージ容量が不足する場合は、ストレージ容量をさらに解放するために特別クリーンアップを実行します。

ご使用になる前に

指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやアプリロックにアクセスしたりすることができます。

- ⚠️ • 指紋によるロック解除は、ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されない場合は、画面のロック解除パスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れていたり、濡れたりしていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** > **ロック解除方法を変更** に移動して、**パターン**、**4桁のPIN**、**カスタムPIN** または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従ってロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先のさまざまな部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

ジェスチャーと操作

スマート認識

QRコードとバーコードの読み取り

- 1 ホーム画面を下にスワイプして  をタップし、AI Vision を開きます。
- 2  をタップし、QRコードまたはバーコードをスキャンフレーム内に収めて情報を取得します。
- 3 結果画面では、以下の操作を行うことができます。
 -  をタップして情報をクリップボードにコピーし、好きな場所に貼り付けます。
 - QRコードに連絡先情報が含まれている場合は、 をタップして、その情報を **連絡先** に追加します。

スキャンして簡単に翻訳

AI Visionにより、外国語のテキストを素早く翻訳できます。

-  この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。
 - この翻訳機能は現在、中国語、英語、日本語、韓国語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、ポルトガル語に対応しています。
- 1 端末のロックを解除したら、ホーム画面の中央から下にスワイプして、 をタップし、AI Vision を開きます。
 - 2 AI Vision 画面で  をタップしたら、ソース言語とターゲット言語を選択して、テキストをビューファインダーのフレームに入れ、翻訳されるのを待ちます。
 - 3  をタップして翻訳をコピーし、好きな場所に貼り付けることができます。

商品のスキャン

知らない商品を発見したけれど、購入したくてもそれが見つからないことがあります。商品をスキャンすると、類似するお勧めの商品が表示されるので、お気に入りの品物を購入するのに便利です。

-  この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。
- 1 端末のロックを解除したら、ホーム画面の中央から下にスワイプして、 をタップし、AI Vision を開きます。
 - 2 AI Vision画面で、 をタップして、商品をスキャンしたり、スクリーンショットを撮影したりしてショッピングができます。
 - スクリーンショットを撮影して購入：商品をビューファインダーのフレームに入れ、 をタップしてスクリーンショットを撮影します。類似の商品が自動的に認識され、お勧めとして表示されます。

- 商品のスキャンして購入: 商品をビューファインダーのフレームに入れると、類似の商品が自動的にスキャンされ、お勧めとして表示されます。

スキャンして対象物をすぐに認識

旅行中に名所旧跡について調べたり、展覧会でお気に入りの絵について調べたりしましょう。どんな写真もAI Visionでスキャンすれば、もっと詳しく知ることができます。

AI Visionは、ユーザーの体験を高めるために、関連のある情報を提供します。手順:

- 1 端末のロックを解除したら、ホーム画面の中央から下にスワイプして、グローバル検索ボックスを表示し、 をタップして AI Vision を有効にします。
- 2 AI Vision 画面で、 をタップし、アート作品をビューファインダーのフレームに入れます。AI Vision が自動的にアート作品を識別し、その作品に関する詳細情報カードを表示します。

食品をスキャンしてカロリー情報を取得

これまで健康食品の選び方やスマートな体型を維持する方法について知りたいと思ったことはないでしょうか。AI Vision で食品をスキャンして、重量やカロリー、栄養素に関する情報を取得しましょう。

-  この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。

試してみるには、以下の手順に従います。

- 1 端末のロックを解除したら、ホーム画面の中央部分から下にスワイプして、 をタップし、AI Vision を開きます。
- 2 AI Vision 画面で、 をタップし、食品がフレームの中心に来るようにすると、重量、カロリー、栄養素情報が表示されます。

画面分割

画面分割モードの有効化

画面分割モードでは複数のタスクを実行できるように画面が2つのペインに分割されるため、2つの異なるアプリを同時に表示して実行できます。

-  すべての端末またはアプリが画面分割モードをサポートしているわけではありません。アプリによっては、このモードでは正しく機能しない場合があります。

ナックルジェスチャーによる画面分割モードの有効化: 互換性のあるアプリを開き、指関節で画面をタップし、真ん中に線を引きます。画面がポートレートモードのときは水平線を引き、ランドスケープモードのときは垂直線を引きます。

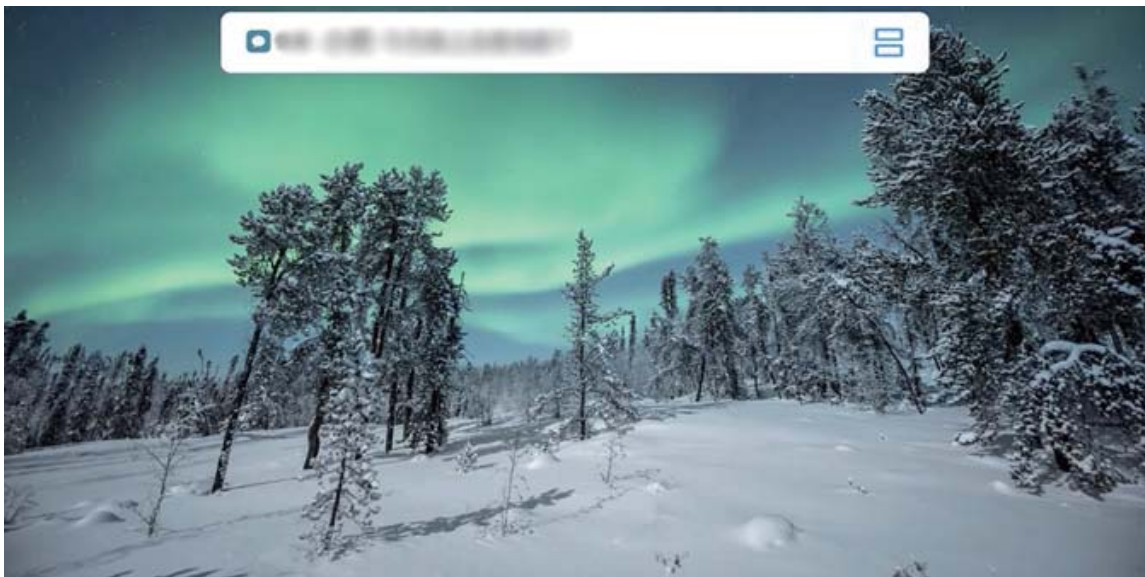
履歴キーによる画面分割モードの有効化: 互換性のあるアプリを開き、 を長押しします。

-  前面にナビゲーションボタンを搭載した端末の場合、仮想ナビゲーションバーはデフォルトで無効になっています。仮想ナビゲーションバーを有効にする場合は、**設定 > システム > 端末ナビゲーション > 3つのキーによるナビゲーション > 設定** に移動します。仮想ナビゲーションバーを有効にすると、前面のナビゲーションボタンは無効になり、長押しやスワイプをしても応答しません。

アプリ上部の  を使用した分割画面モードの有効化3つのキーによるナビゲーション を使用している場合、ナビゲーションバーの  をタップしてタスクの履歴画面にアクセスします。ジェスチャー を使用している場合、画面を下から上にスワイプして指をそのままにすると、タスクの履歴画面が開きます。互換性のあるアプリを選択し、アプリの上部にある  をタップします。

3本の指を使用した画面分割モードの有効化: 互換性のあるアプリを開いてから、3本の指で画面を上から下にスワイプします。画面の最下部から上にスワイプしないでください。

インテリジェント画面分割: 全画面モードでビデオを視聴しているときにSMSメッセージやアプリの通知が届くと、画面の分割を求めるバナーが表示されます。



画面分割モードの終了

画面分割モードを終了する方法。

画面分割モードを終了するには、 をタップして、 を選択します。

ホーム画面

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーの配置の設定

ナビゲーションバーを使用すると、簡単にホーム画面にアクセスしたり、前のページに戻ったり、アプリを終了したり、最近使用したアプリを表示したりすることができます。

ナビゲーションバーレイアウトを設定するには、 **設定** を開き、**システム > システムナビゲーション > 3つのキーによるナビゲーション > 設定** へ移動し、ナビゲーションキーの組み合わせを選択した後に使用頻度に応じて **ナビゲーションキーを非表示** を有効または無効にします。



-  **戻るキー**: タップすると、前のページに戻るか、アプリが終了します。テキスト入力中にタップすると、画面のキーボードが閉じます。
-  **ホームキー**: タップすると、ホーム画面に戻ります。長押しすると、Google Assistant アイコンが表示されます。このアイコンを上から下にスワイプすると、Google Assistant 機能が有効になります。
-  **履歴キー**: タップすると、最近使用したアプリの一覧が表示されます。長押しすると、画面分割モードが有効になります。
-  **下方スワイプ通知キー**: タップすると、通知パネルが開きます。

ジェスチャーによるナビゲーション

ジェスチャーを使用すると、前の画面に戻る、ホーム画面に戻る、最近のタスクを表示するなどの操作がすばやく行えます。

 **設定** を開き、**システム > システムナビゲーション** に移動し、**ジェスチャー** を選択します。ここで次のことができます。

- **前の画面に戻る**: 画面の片側から内側に向かってスワイプします。
- **ホーム画面に戻る**: 画面の下端から上に向かってスワイプします。

- **最近のタスクを表示する**: 画面の下端から上に向かってスワイプして、押したままにします。アプリを閉じるにはアプリのプレビューを上からスワイプし、すべてのアプリを閉じるには  をタップします。
- **Googleアシスタントを有効にする**: **設定** をタップし、**Googleアシスタント** を有効にします。画面下隅(左または右)から上にスワイプすると、Googleアシスタントが有効になります。

通知パネルとステータスバー

通知アイコンとステータスアイコンについて

ステータスバーのアイコンを見ると、ネットワーク接続、電池残量、端末がサイレントモードのときに受信した新着メッセージなど、端末の全体的な状態をすぐに確認できます。

ステータスアイコン: ステータスアイコンを見るだけで、ネットワーク接続、電波強度、電池残量、時刻といった端末の状態をすぐに確認できます。

 ネットワーク状態を示すアイコンは、地域やサービスプロバイダーによって異なる場合があります。

	電波強度		電波なし
4G⁺	4G+通信中	3G	3G通信中
4G	4G通信中	H	HSPA通信中
2G	2G通信中	LTE	LTE通信中
LTE⁺	LTE+通信中		NFC有効
H⁺	HSPA+通信中		機内モード有効
	VoLTE有効		Wi-Fi通信中
R	ローミング		GPSから位置情報を受信中
	Bluetooth有効		サイレントモード有効
	Wi-Fiネットワーク利用可		充電中
	バイブモード有効		電池残量わずか
	アラーム有効		SIMカードなし
	満充電		ヘッドセット接続
	省電力モード有効		パフォーマンスモード有効
	有線または無線外部出力使用中		超急速充電中
	急速充電中		視力保護モード有効

	通知の鳴動制限モード有効		USBケーブル接続中
	データ節約モード有効		Bluetooth機器の電池残量
	アクセスポイント有効		端末管理 リマインダー
	信号が不安定		現在のネットワークでは通話を接続できない
	読み上げテキスト選択機能が有効		スクリーンタイム管理 が有効

通知アイコン: 新しいメッセージがある場合、端末の通知やリマインダー、関連アイコンがステータスバーに表示されます。

	不在着信		新着メール
	データのダウンロード中		新着ボイスメール
	予定の通知		データのアップロード中
	データの同期中		メモリー空き容量なし
	ログインまたは同期で問題が発生		同期失敗
	VPN接続中		その他の通知

アプリ通知の無効化

 **設定** を開いて、**通知** をタップします。ここで次のことができます。

- **アプリからの通知をブロックする:** アプリを選択し、**通知を許可** を無効にします。
- **複数のアプリからの通知をブロックする:** **一括管理** をタップして、**すべて** を無効にします。
-  **アプリからの通知をブロックするもう1つの方法として、ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開き、アプリからの通知を長押しして **通知を許可** を無効にすることもできます。**

通知設定のカスタマイズ

通知設定をカスタマイズして、端末を使いやすくすることができます。

 **設定** を開いてから、**通知 > その他の通知設定** に移動します。ここで次のことができます。

- **通知による画面点灯の有効化:** 通知を受信したときに画面を点灯するよう設定するには、**通知で画面を点灯** を有効にします。

画面ロックとロック解除

ロック画面パスワードによるプライバシー保護

端末には、プライベートな写真、連絡先情報、Alipayのようなバンキングアプリなど、保護する必要がある情報が多数保存されています。ロック画面パスワードを設定することで、端末のロックを解除するたび

にパスワードが要求されます。ロック画面パスワードにより、端末を紛失してしまった場合や、不正なユーザーがアクセスした場合でも、個人情報を保護できます。

ロック画面パスワードの設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **画面ロックとパスワード** に移動し、ロック画面パスワードのいずれかのタイプを設定します。

- **PINの設定:** PIN番号は、一連の数字で、初期設定は、6桁のPIN番号です。PIN入力による端末のロック解除は、簡単かつシンプルです。安全性を高めるには、長いランダムな数字の組み合わせをPINとして使用します。**ロック画面のパスワードを設定** に移動して、画面の指示に従ってPINを設定します。または、**ロック解除方法を変更** をタップして **4桁のPIN** または **カスタムPIN** を設定します。
- **パターンの設定:** 事前に設定したパターンを画面に描くことで端末のロックを解除します。安全性を高めるには、重複する線を含むパターンを使用します。**ロック画面のパスワードを設定** > **ロック解除方法を変更** > **パターン** に移動し、同じパターンを2回描きます。4つ以上の点を結ぶパターンにする必要があります。
- **パスワードの設定:** 数字、文字、特殊文字からなるパスワードは、PINやパターンよりも安全です。安全性を高めるには、数字、文字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを使用してください。パスワードを忘れると、端末のロックが解除できなくなるため、パスワードを忘れないようにしてください。**ロック画面のパスワードを設定** > **ロック解除方法を変更** > **パスワード** に移動して、画面の指示に従ってパスワードを設定します。
- **スマートバンドによる端末のロック解除:** スマートバンドを使用すれば、バンドを端末から80cm以内に近づけると、画面が点灯します。画面をスワイプするとすぐに端末のロックが解除されます。**スマートロック解除** をタップし、画面の指示に従って設定を行います。
- **指紋による端末のロック解除:** ロック解除方法としてこの方法をお勧めします。指紋によるロック解除では、安全かつ簡単に端末のロックを解除できます。ロック画面パスワードの設定後に、ポップアップ表示されるダイアログボックスの **登録** をタップし、画面の指示に従って指紋を登録します。
- **セキュリティ上の理由から、ロック画面パスワードは無効にしないこと:** ロック画面パスワードにより、端末への不正なアクセスを防止できます。端末を安全に保護するため、画面ロック方法として **ロック画面のパスワードを無効化** は選択しないことをお勧めします。
- **パスワードを忘れないようにするために定期的に表示されるパスワードプロンプト:** 画面ロックパスワードを入力しない状態が3日間続くと、パスワードを入力して端末のロックを解除するように求められます。

画面をロックして端末をすぐに保護する

一定時間端末を使用しないと、画面が消灯し、ロックされます。画面が点灯している間は端末を使用でき、画面のロックを解除する必要はありません。プライバシーを保護し、誤った入力を防止するため、端末を使用していないときには画面をロックしてください。

- **ロック画面パスワードを設定することで、プライバシーを保護できます。** 端末をロックする方法を次に示します。

電源ボタンで画面を瞬時にロックする: いつでも電源ボタンを押せば画面がロックします。

ワンタップ画面ロックで画面をロックする: ホーム画面で2本の指をピンチインすると、編集画面が表示されます。**ウィジェット > 画面ロック** をタップし、ホーム画面に **画面ロック** ウィジェットを追加します。これにより、電源ボタンの劣化を軽減できます。ホーム画面編集モードを終了したら、**画面ロック** ウィジェットをタップすると画面がすぐにロックされます。画面をこの方法でロックするには、まず、**画面ロック** ウィジェットがあるホーム画面ページに切り替えます。

シンプルモード

ホーム画面にアプリのアイコンや小さな文字が詰まっていると、見づらく感じることもあります。シンプルモードでは、システムの音量を最大化し、ホーム画面上に大きなアイコンやフォントを表示し、ナビゲートしやすい、より簡潔なレイアウトを採用しています。

 **設定** を開いて、**システム > 簡易モード** に移動し、**有効** をタップします。

シンプルモードでは、以下の操作を行うことができます。

- **ホーム画面のアイコンの編集:** システム以外の特定のアプリのアイコンを長押しし、ドラッグするかアンインストールします。
- **シンプルモードの終了:** **設定** をタップし、**シンプルモード終了** を選択します。

 **簡易モード** で、**設定 > その他の設定... > システム > リセット > 全ての設定をリセット** に移動します。そうすると、デフォルトのシステムホーム画面に移動し、**簡易モード** のすべての設定がリセットされます。

ホーム画面の管理

ホーム画面のアイコンの管理

アプリのアイコンまたはフォルダの移動: ホーム画面でアプリまたはフォルダのアイコンを長押しし、端末が振動したらそのアイコンをホーム画面上の任意の位置までドラッグします。

アプリのアイコンの削除: ホーム画面で、アンインストールするアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら **アンインストール** をタップします。

 システムを正常に動作させるために、プリインストールされているシステムアプリの一部はアンインストールできないようになっています。

ホーム画面の配置の固定:  **設定** を開いて、**ホーム画面と壁紙 > ホーム画面設定** に移動し、**配置を固定** を有効にします。

フォルダの作成: ホーム画面でアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンを別のアプリのアイコンの上までドラッグします。2つのアイコンが新しいフォルダ内に格納されます。

フォルダの削除: フォルダを開いて **+** をタップし、すべてのアプリを選択解除してから **OK** をタップします。フォルダが削除されて、フォルダ内にあったアプリのアイコンがすべてホーム画面に移動します。

フォルダ名の変更: フォルダを開いてフォルダ名をタップし、新しい名前を入力します。

フォルダ内のアプリアイコンの追加または削除: フォルダを開き、**+** をタップします。フォルダに追加するアプリを選択し、削除するアプリを選択解除してから **OK** をタップします。

-  アプリのアイコンをフォルダから削除する別の方法として、フォルダ内の削除対象のアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンをホーム画面の空きスペースにドラッグすることでも削除できます。

ホーム画面の壁紙の設定

デフォルトの壁紙を変えたいことがあります。お気に入りの写真をホーム画面の壁紙として設定し、ホーム画面をカスタマイズできます。



設定 を開いて、**ホーム画面と壁紙** > **壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

画像をホーム画面の壁紙として設定する: **ギャラリー** をタップするか、またはお好みの画像を選択し、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、もしくは **両方** を選択します。

ギャラリーで写真を壁紙として設定: 素敵な写真を壁紙として設定したいときがあります。  **ギャラリー** で、お気に入りの写真を開いて、**⋮** > **登録** > **壁紙** に移動し、画面上の指示に従ってホーム画面の壁紙としてその写真を設定します。

ホーム画面のウィジェットの管理

画面ロック、天気、メモ帳、時計、連絡先、またはカレンダーなどのウィジェットをホーム画面にすばやく追加したい場合があります。ホーム画面を使いやすいように整理するために、ホーム画面上でウィジェットを追加、移動、削除することができます。

ウィジェットの追加: ホーム画面を指でピンチインすると、ホーム画面の編集モードが起動します。**ウィジェット** をタップし、ウィジェットを長押ししてホーム画面上の何もない領域までドラッグするか、該当のウィジェットをタップします。



- ① ホーム画面上にウィジェットを配置するための十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、空の画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

ウィジェットの削除: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、**削除** を選択します。

ウィジェットの移動: 端末が振動するまで、ホーム画面上のウィジェットを長押しします。ウィジェットを画面上の好きな場所にドラッグします。

アプリドロワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納して、すっきりとしたホーム画面にすることができます。ホーム画面でアプリドロワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

 **設定** を開き、**ホーム画面と壁紙** > **ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドロワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

- ① **アプリドロワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する:** アプリドロワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリリストを開きます。アプリリストで、追加するアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら、そのアイコンをホーム画面上の目的の位置にドラッグします。

連絡先

連絡先の管理

連絡先アプリには、連絡先を管理するためのさまざまな機能が含まれています。端末またはSIMカードの連絡先だけを表示して、連絡先リストの表示を簡素化できます。連絡先をお気に入りに追加して、簡単に見つけられるようにします。

重複した連絡先の統合: **重複した連絡先の統合** 機能を使用して、重複した連絡先を統合します。連絡先リスト画面で  > **設定** > **連絡先を整理** > **重複した連絡先の統合** に移動します。統合する連絡先を選択し、**統合** をタップします。

アカウント別の連絡先を表示する: 連絡先リスト画面で  > **設定** > **表示設定** に移動し、連絡先を表示するアカウントを選択します。また、以下の操作を行うことができます。

- **簡易表示の有効化:**  > **設定** > **表示設定** に移動して、**簡易表示** を有効にします。
- **連絡先のストレージ容量の確認:**  > **設定** > **表示設定** に移動します。**アカウント** 領域には、SIMカードのストレージの総容量と空き容量が表示されます。

連絡先を削除する: 連絡先リスト画面で削除するエントリを長押しし、**削除** をタップします。連絡先を一括削除するには、 > **設定** > **連絡先を整理** > **複数の連絡先を削除** に移動し、削除するエントリを選択して、 をタップします。

電話

基本的な通話機能

着信転送による不在着信の回避

電話に出れない場合、着信を別の番号に転送できます。

 一部の通信事業者は、この機能に対応していない場合があります。

 **電話** を開いて  > **設定** > **着信転送** に移動します。端末をデュアルSIMでご利用の場合、**SIM 1** または **SIM 2** セクションで **着信転送** をタップし、転送方法を選択します。着信の転送先の番号を入力し、その番号を確認します。端末で着信転送が有効になっている場合、着信は事前に設定された番号に自動的に転送されます。

国際ローミングを有効にして国際通話を行う

出張や休暇で海外にいるときは、端末でローミングが有効になっていれば、国番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

1 ご利用の通信事業者に連絡して、国際通話またはローミングサービスを有効にします。

2  **電話** または  **連絡先** を開いて電話をかけます。

VoLTE

VoLTE: 通話とデータ通信を同時に実行

VoLTE (Voice over LTE) では、通話とデータ通信サービスの両方を同じ4Gネットワーク上で実現できるため、通話中でもインターネットを使用できます。また、VoLTEにより通話確立までの時間が短縮し、より高品質の音声およびビデオ通話を利用できます。

ご利用の端末のSIMカードスロットは両方とも4G、VoLTEに対応しているため、SIMを切り替える必要はありません。

- **デュアル4G**: ご利用の端末のSIMカードスロットは両方とも4Gに対応しています。
- **デュアルVoLTE**: ご利用の端末のSIMカードスロットは両方ともVoLTEに対応しているため、HD通話（高品質通話）をしながらインターネットを使用できます。

VoLTE を有効にして HD 通話を楽しむ

 ● デュアルSIM対応端末は、両方のSIMカードスロットでの4G、VoLTEの有効化に対応しています。

 **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **モバイルネットワーク** に移動します。SIM1またはSIM2（ご利用の通信事業者のネットワークで対応している場合）の設定エリアで、以下の操作を実行できます。

- **4Gの有効化**: 4G を有効にします。4G スイッチは、通信事業者の設定によりご利用の端末で使用できない場合があります。これは、4Gネットワークがデフォルトで有効になっていることを示します。
- **VoLTE通話の有効化**: VoLTE通話 を有効にします。

カメラ

基本機能

カメラ設定の調整

 カメラを開き、 をタップして 設定 画面にアクセスします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- カメラの解像度を調整する: 解像度 をタップし、指定の解像度を選択します。
 -  この機能は一部のモードでは利用できません。
- 位置情報タグの有効化: GPSタグ を有効にして、写真に自分の位置情報をタグ付けします。
- 笑顔の撮影: スマイルキャプチャ を有効にします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されます。
- RAW形式画像の保存: RAW形式では、詳細な情報を記録して後処理を行うことができます。プロモードで、 > 解像度 に移動して、RAW形式 を有効にします。これにより、撮影した写真が標準画像形式とRAW形式の両方で ギャラリー の専用フォルダに保存されます。
 -  RAW形式の写真は、標準形式の写真よりも保存サイズが大きくなります。

ワイドアパーチャモードを使用して被写体を強調する

ワイドアパーチャモードを使用すると、被写界深度が浅くなります。これにより、背景がぼけて被写体により強調されます。

ワイドアパーチャ写真を撮影する:  カメラ > アパーチャ に移動します。撮影時は画面をタップして焦点を設定してから  をタップして撮影します。

-  ● 仕上がりをよくするために、中心の被写体がカメラから2m以内にあることを確認してください。
-  をタップし、スライダーを左右にスワイプして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のぼけ味が強くなります。

アニメーション写真を撮影する

アニメーション写真でよりダイナミックで楽しい写真を撮影し、人生の素晴らしい瞬間をいつまでも残すことができます。

アニメーション写真では、シャッターボタン押下前後の約1秒間のシーンをアニメーションとして撮影できます。ギャラリーで写真を参照する際には、静止画として表示したり、アニメーション写真のダイナミックな効果とサウンドを楽しんだりすることもできます。

アニメーション写真を撮影する:  カメラ を開き、その他 > アニメーション写真 に移動して、 をタップしてアニメーション写真を撮影します。

アニメーション写真を表示する: アニメーション写真は、JPG形式で **ギャラリー** に保存されます。  **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラ** に移動し、 アイコンで写真をタップし、写真の上部の  をタップして、アニメーション効果を表示します。再生が終了すると、アニメーション写真は自動的に停止します。また、再生を停止するには、画面をタップします。

アニメーション写真を共有する:  **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラ** に移動して、共有するアニメーション写真をタップし、 をタップして共有方法を選択します。

-  アニメーション写真は、Wi-Fi、Bluetooth、Huawei Shareなどの方法で直接共有できます。アニメーション写真の効果を再生するには、アニメーション写真の撮影に対応したHuawei端末を受信端末として使用する必要があります。アニメーション写真をサードパーティ製アプリまたは互換性のない端末と共有する場合、アニメーション写真は静止画像として表示されます。

ギャラリー

ハイライトアルバムのカスタマイズ

ハイライトは、時間と場所の情報を活用して自動的にアルバムを作り、短いビデオクリップを生成する機能です。楽しい時間の思い出が瞬時によみがえります。ハイライトアルバムは自分でカスタマイズすることもできます。お気に入りの写真やビデオを選択したり、ビデオテンプレートやBGMを選択したりすることができます。

-  ハイライトの使用を開始するには、**カメラ**を開き、 をタップして、**GPSタグ**を有効にします。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認してください。
- ハイライトアルバムの自動作成処理は、端末の充電中、画面が消灯されていて、電池残量が50%以上あるときに行われます。この処理には時間がかかる場合があります。ギャラリーの写真またはビデオの数が10個未満の場合、ハイライトアルバムは作成されません。

 **ギャラリー**を開きます。**ハイライト**タブで、表示または編集するハイライトアルバムをタップします。これで、以下のいずれかを実行できます。

- **ハイライトの再生または編集**: ビデオを再生するには、 をタップします。再生中にビデオをタップし、画面下部のプリセットテンプレートを選択します。BGMやフィルタを変更するなどのカスタマイズを加える場合は、画面上部の  をタップします。保存するには  をタップし、エクスポートするには、 をタップします。作成したものを友達と共有しましょう。

 エクスポートされたハイライトクリップは **ギャラリー > アルバム > ビデオ** の下に保存されます。

- **ハイライトの写真やビデオの追加または削除**: 写真やビデオを追加するには、 をタップし、写真またはビデオを選択してから  をタップします。削除するには、写真またはビデオを長押ししてから、 をタップし、**移動**をタップします。

 ハイライトに追加できるビデオはMP4形式のもののみです。

- **ハイライトの写真やビデオの共有**: 共有する写真やビデオを長押しし、 をタップして共有方法を選択します。その後、手順に従って操作を完了します。

- **アルバムの名前変更**:  > **名前を変更** に移動して新しい名前を入力します。

- **アルバムの削除**:  > **削除** に移動し、**削除**をタップします。

写真の管理

写真認識を使用して写真をスマートに整理する

写真の整理に時間がかかったり、探している写真がなかなか見つからないことがあります。そんなときは、写真認識機能を使用すると、ギャラリー内でポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に写真が自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。

写真をスマートに整理する: ギャラリーでは、撮影した写真がポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。

まとめた写真をカスタマイズする: ギャラリーに様々なポートレートアルバムを自動的にまとめた後、ポートレートのアルバムを長押しし、**名前を変更**をタップするとアルバム名を手動で変更し、関係(「赤ちゃん」、「お母さん」など)を設定できます。設定が完了した後は、様々な写真アルバムを名前で表示できます。また、ギャラリー検索バーで名前と関係を検索することで、写真を探すこともできます。

グループ写真をアルバムにまとめる: ギャラリーでカテゴリーが識別されると、作成したアルバムに名前を設定できます。ギャラリーでは、10個以上になったグループ写真をひとまとめにして、グループ写真アルバムを作成します。

アルバムの整理

アルバムの追加: アルバム タブで、**アルバムの追加** をタップし、アルバムに名前を付け、OK をタップします。追加する写真またはビデオを選択します。

写真およびビデオの移動: 写真やビデオをさまざまなアルバムから1つのアルバムに移動し、管理や閲覧を簡単にできます。  が表示されるまで移動する写真またはビデオを長押しし、移動する写真またはビデオをすべて選択します。  をタップし、目的のアルバムを選択します。移動したアイテムは、元のアルバムからはなくなります。

お気に入りに写真やビデオを追加: 表示しやすいように、写真やビデオをお気に入りに追加できます。

自分のお気に入りにアルバムを追加する写真またはビデオを開き、  **をタップします。お気に入りの写真やビデオは元のアルバムに残り、サムネイルに**  **アイコンが表示されます。**

写真やビデオの削除:  アイコンが表示されるまで写真またはアルバムを長押しします。削除するアイテムを選択し、 > **削除** に移動します。削除された写真やビデオは、永久に削除される前に、**最近削除したファイル** アルバムに一定期間残ります。削除までの残り日数のマークが、写真上に表示されます。手動で写真またはビデオを完全に削除するには、サムネイルを長押しし、 > **削除** に移動します。

削除した写真やビデオの復元: **最近削除したファイル** アルバムで、 アイコンが表示されるまで写真またはビデオを長押しします。復元するアイテムを選択し、 をタップすると、元のアルバムに復元されます。元のアルバムが削除されている場合は、新しいアルバムが作成されます。

オペティマイザ

モバイルデータ通信量の管理

追加料金が発生しないように、モバイルデータの通信量を管理します。

 **端末管理** を開き、**データ通信量** をタップして、データの使用統計を表示するか、**スマートデータセーバー** を有効にします。

- **今月のデータ通信量**: アプリのデータ使用ランキングを確認します。
- **ネットワークアクセス**: 各アプリのインターネット接続権限を管理します。
- **スマートデータセーバー**: データセーバーを有効にし、バックグラウンドでの実行中にモバイルデータの使用を許可されているアプリを選択します。

自動起動による不要なアプリの動作の防止

サードパーティのアプリがバックグラウンドで知らないうちに実行されていたり、システムリソースが占有されていたり、電力が消費されたりすると困るものです。自動起動を使用すると、望ましくないアプリの動作を特定し制限できます。

 **端末管理** を開いて、 > **アプリ起動** をタップすると、以下の操作を行うことができます。

- **アプリの自動管理**: **すべて自動的に管理** を有効にするか、各アプリのスイッチを切り替えます。システムが自動的にアプリの使用状況を分析し、アプリの自動起動、連動、バックグラウンドでの実行を防止します。
- **アプリの手動管理**: **すべて自動的に管理** を有効にしていない場合、目的のアプリのスイッチをタップし、自動起動、連動、バックグラウンドでの実行を適宜、有効/無効にします。
- **起動レコードの表示**:  > **起動記録** に移動して、各アプリの詳細な起動履歴を表示します。

カレンダー

カレンダーの操作

毎日を忙しく過ごす方には、Huawei端末の **カレンダー** アプリを使って、日々のスケジュールを管理することをお勧めします。

予定の作成:  **カレンダー** を開き、 をタップして、タイトル、場所、開始時間、終了時間などの予定情報を入力します。**通知を追加** に移動し、予定の通知を追加してから、 をタップします。

予定の検索: カレンダー ページで  をタップし、タイトルや場所などの予定のキーワードを入力します。

カレンダーの設定: カレンダー ページで  > **設定** に移動し、カレンダーの表示と通知をカスタマイズします。

目的地の正確な位置の確認:  **カレンダー** を開きます。ビューまたはスケジュールで、目的地が設定されている予定をタップすると、その予定に関する正確な位置情報を表示できます。

天気予報の確認:  **カレンダー** を開いてビューまたはスケジュールの予定をタップすると、予定がある日の天気予報を表示できます。

会議の参加者の確認:  **カレンダー** を開いて会議の通知をタップすると、参加者を表示できます。

ツール

スクリーンタイムの確認

デジタルバランスによって、アプリの使用状況を確認できるため、スクリーンタイムを管理しやすく、端末の使用習慣を改善できます。

端末の使用状況を確認するため、 **設定** を開いて、**デジタルバランス > その他** に移動します。

今日のスクリーンタイムの確認: **今日** をタップすると、スクリーンタイム、アプリの使用状況、ロック解除を確認できます。

過去7日間のスクリーンタイムの確認: **過去7日間** をタップし、スクリーンタイム、アプリの使用状況、ロック解除を確認します。

音声レコーダーを使用した音声メモの作成

会議中に重要なメモを取る時間が十分取れないと感じたことはないでしょうか。取材や講義でとった多くのメモを整理する必要に迫られることもあります。音声レコーダーを使用すると、音声ファイルに録音して後で簡単に再生することができます。

 **音声レコーダー** を開き、 をタップして録音を開始します。録音中に、重要なポイントにタグを追加できます。 をタップして録音を終了し、音声ファイルを保存します。

録音後、以下の操作を行うことができます。

- **タグによる録音の再生:** 録音ファイルリストから、録音をタップして再生画面に切り替えます。再生画面で、追加したタグをタップすると、該当するポイントから録音を再生できます。
- **録音ファイルの管理:** 録音ファイルを長押しすると、録音ファイルの共有や削除などのオプションを利用できます。

 録音ファイル一覧で録音ファイルを長押しし、次に  > **詳細** をタップしてファイルの保管場所を表示します。

端末のリセット

キャッシュや未処理のファイルが長期間にわたって蓄積すると、端末の処理速度が遅くなる場合があります。そんなときは、端末をリセットすることで、キャッシュされたファイルをすべて消去し、端末の初期設定に戻すことができます。

ネットワーク設定のリセット: Wi-Fi、モバイルデータ通信、Bluetoothの設定(テザリングやBluetoothペアリング情報を含む)を元に戻すことができます。端末の他の設定は変更されず、データやファイルも削除されません。

 **設定** を開き、**システム > リセット > ネットワーク設定をリセット** に移動して **ネットワーク設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

すべての設定を元に戻す: 端末の初期ネットワーク設定と指紋認証/顔認証のデータおよびロック画面のパスワードをリセットすることができます。端末探索やHUAWEI IDの設定はリセットされず、データやファイルも削除されません。

 **設定** を開き、**システム > リセット > 全ての設定をリセット** に移動して **全ての設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

初期化する: アカウント設定、システム設定、アプリデータ、インストールされているアプリ、曲、画像、ドキュメントなど、端末のメモリとストレージに保存されているすべてのデータを削除し、端末を初期化することができます。端末を初期化する前にデータをバックアップしてください。

 **設定** を開き、**システム > リセット > 端末をリセット** に移動して **リセット** をタップし、必要に応じて画面のロック解除パスワードを入力し、画面の指示に従って端末を初期化します。

マルチユーザー

複数のユーザーの設定と使用

仕事用とプライベート用に使い分けるために、端末に複数のユーザーアカウントがあると便利です。ご利用の端末に複数のユーザーを追加して、ワンタップで切り替えることができます。

ユーザーまたはゲストの追加

 最大3人のユーザーと1人のゲストを追加できます。

ユーザーの追加:  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。**ユーザーを追加** をタップし、ユーザーの名前を入力し、**追加** をタップします。追加後、新しいユーザーに切り替えて、画面の指示に従いアカウント設定を行います。

ゲストの追加:  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。**ゲストを追加** > **追加** をタップしてゲストを作成します。

ユーザーアカウント名およびプロフィール画像の設定: ユーザーを追加した後、ユーザーアカウント名とプロフィール画像を設定できます。これを行うには、該当するユーザーに切り替えて  をタップします。画面の指示に従ってユーザー名およびプロフィール画像を変更します。

通話、メッセージの送信、通話履歴共有の許可: 別のユーザーモードに切り替えた後でも基本的な通話機能を使用できます。追加した新しいユーザーは、通話、メッセージの送信、および端末所有者との通話履歴の共有ができます。ゲストユーザーは、通話および端末所有者との通話履歴の共有ができません。これを行うには、所有者のアカウントでログインし、 **設定** をタップした後、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。必要なユーザーを選択し、**通話、メッセージ、通信履歴の共有を許可** をタップします。

ユーザーまたはゲストの削除

ユーザーを削除するには、次のいずれかの方法を選択します。

- 所有者アカウントでログインし、 **設定** をタップした後、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。目的のユーザーを選択し、**ユーザーを削除** > **削除** をタップします。
- 所有者アカウントでログインし、ステータスバーを下にスワイプして、 > **詳細設定** に移動します。目的のユーザーを選択し、**ユーザーを削除** > **削除** をタップします。

ゲストを削除するには、 **設定** をタップします。**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動し、**ゲスト** > **ゲストを削除** > **削除** をタップします。

所有者アカウント、ユーザー、ゲストモードの切り替え

所有者アカウント、ユーザー、ゲストモードを切り替えるには、次のいずれかの方法を選択します。

- ステータスバーを下にスワイプし、 をタップします。次に、目的のユーザーのプロフィール画像をタップします。

-  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。次に、目的のユーザーのユーザー名またはプロフィール画像をタップします。
-  別のユーザーから所有者に戻すときに、画面ロック解除用のパスワードの入力が求められます。

デバイス接続

Bluetooth によるデータの共有

Bluetooth経由で端末を別の端末に接続することで、データの共有、連絡先のインポートとエクスポート、インターネットテザリングの設定が可能になります。

Bluetoothによるファイルの送信: 端末が別の端末のBluetooth有効範囲内(10m)にあることを確認します。Bluetooth接続を確立して、2台の端末間でマルチメディアファイル、Webページ、連絡先、ドキュメント、アプリを共有できます。 **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** > **Bluetooth** に移動します。画面の指示に従ってBluetoothを有効にします。該当する端末が検出されたら (Bluetoothが有効で、その端末が他の端末から検出可能である必要があります)、端末の名前をタップすると接続が確立され、ファイルの送信が開始します。

Bluetooth経由でのファイルの受信: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効にします。ファイル転送通知で **受信** をタップすると、ファイルの受信が開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **bluetooth** フォルダに保存されます。

Bluetooth経由での連絡先のインポート/エクスポート:  **連絡先** を開き、**:** > **設定** > **インポート/エクスポート** に移動して以下の操作を実行します。

- **連絡先のインポート:** Bluetooth経由で**インポート** をタップし、画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。該当する端末の連絡先がこの端末に自動的にインポートされます。
- **連絡先のエクスポート:** **連絡先の共有** をタップし、共有する連絡先を選択して  をタップし、**Bluetooth** を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。選択した連絡先が、この端末から該当する端末に自動的にエクスポートされます。

端末とコンピュータ間でのデータ転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送します。

USB接続モードの選択

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続すると、常用の接続方法を選択できます。端末とコンピュータ間で写真やファイルを転送したり、コンピュータへのUSB接続によって端末を充電したりできます。

ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開いた後、**設定** > **タップしてその他のオプションを表示**、コンピュータへの端末の接続方法を選択します。

- **写真を転送:** 端末とコンピュータ間で写真を転送します。
- **ファイルを転送:** 端末とコンピュータ間でファイルを転送します。
- **充電のみ:** 端末の充電だけを行います。
- **給電:** USBタイプCケーブルで端末と別の端末を接続し、別の端末に給電します。
- **MIDI入力:** 端末をMIDI入力端末として使用し、コンピュータで音楽を再生します。

USBポートを使用したデータの転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送したり、その他のタスクを行うことができます。

- ファイルの転送:** MTP (Media Transfer Protocol) は、メディアファイルを転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間でファイルを転送できます。MTPを使用する前に、コンピュータにWindows Media Player (11以降) をインストールしてください。
 ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **ファイルを転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の名前が付いたドライブを開き、端末に保存されているファイルを閲覧します。Windows Media Playerを使用して端末のマルチメディアコンテンツを閲覧することもできます。
- 画像の転送:** PTP (Picture Transfer Protocol) は、画像を転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間での画像の転送が簡単になります。
 ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **写真を転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の型番に基づく名前が付いたドライブを開き、端末に保存されている画像を閲覧します。
- 端末へのMIDIデータの転送:** MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、作曲家や電子楽器メーカーを対象とした業界標準のオーディオ規格です。
 ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **MIDI入力** を設定します。これにより、この端末と別の端末の間でMIDIデータを転送できます。

Huawei Share

Huawei Share を使用して Huawei 端末間でファイルを素早く共有する

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真やビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

-  Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが両方とも自動的に有効になります。

Huawei Shareを使用したファイルの送信: 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択し、**共有** をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。

Huawei Shareを使用したファイルの受信: ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、 をタップしてHuawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、**承諾** をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

-  2台のHuawei端末が同じHUAWEI IDを使用してログインしている場合、確認は必要ありません。

Huawei Share を使用して端末とコンピュータ間でファイルを転送する

端末からコンピュータ (Windows PCまたはMac) へ写真とビデオをすばやく転送したいときがあります。Huawei Shareを使用すれば、USBケーブルさえ使用せずに、以前よりはるかに簡単に転送できます。

端末からWindows PC

- 1 開始する前に、端末がコンピュータと同じネットワーク(同じWi-Fiネットワークなど)に接続されていることを確認します。
- 2 端末で  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** に移動して **Huawei Share** および **コンピュータとの共有** を有効にします。
- 3 同じ画面で、**コンピュータ上に表示される名前** を確認してメモし、**コンピュータでの確認** をタップしてユーザー名とパスワードを表示してメモします。
- 4 Windows PCで、**Computer** > **Network** に移動し、**コンピュータ上に表示される名前** をダブルクリックして、前のステップでメモしたユーザー名とパスワードを入力します。端末の内部ストレージフォルダまたはアルバムフォルダがコンピュータに表示されます。
 このようなフォルダのコンテンツは自動的にWindows PCに保存されませんが、必要に応じてコンピュータからアクセスし、コンピュータ内にコピーして、保存できます。
- 5 Windows PCで内部ストレージまたはアルバムにあるファイルや写真を編集することも可能で、変更は自動的に端末に同期されます。同様に、端末でファイルや写真を編集すると、変更はコンピュータにも同期されます。

端末からMac:

- 1 開始する前に、端末がコンピュータと同じネットワーク(同じWi-Fiネットワークなど)に接続されていることを確認します。
- 2 端末で  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** に移動して **Huawei Share** および **コンピュータとの共有** を有効にします。
- 3 同じ画面で、**コンピュータ上に表示される名前** を確認してメモし、**コンピュータでの確認** をタップしてユーザー名とパスワードを表示してメモします。
- 4 Macで、**Finder** > **Go to** > **Network** に移動し、**コンピュータ上に表示される名前** をダブルクリックして、登録するユーザーアカウントを選択し、前のステップでメモしたユーザー名とパスワードを入力します。内部ストレージフォルダまたはアルバムフォルダがMacに表示されます。
 このようなフォルダのコンテンツは自動的にMacに保存されませんが、必要に応じてコンピュータからアクセスし、コンピュータ内にコピーして、保存できます。
- 5 Macで内部ストレージまたはアルバムにあるファイルや写真を編集することも可能で、変更は自動的に端末に同期されます。同様に、端末でファイルや写真を編集すると、変更はMacにも同期されます。
 この機能はiOS 10.8以降のMacコンピュータでサポートされています。

セキュリティとプライバシー

指紋

指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやアプリロックにアクセスしたりすることができます。

- ⚠️ 指紋によるロック解除は、ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されない場合は、画面のロック解除パスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れていたり、濡れていたりしていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** > **ロック解除方法を変更** に移動して、**パターン**、**4桁のPIN**、**カスタムPIN** または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従ってロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先のさまざまな部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

指紋の追加または変更

端末には最大5つの指紋を登録できます。指紋を削除したり、名前を変更したりすることもできます。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 指紋リスト セクションでは、以下の操作を実行できます。
 - **新しい指紋の登録**: **新しい指紋** をタップして新しい指紋を登録します。
 - **指紋の名前の変更または削除**: 登録済みの指紋をタップして、名前を変更または削除します。
 - **指紋の識別**: **指紋認証** をタップして、登録した指紋を確認または選択します。

指紋を使用してプライベート情報に素早くアクセス

Safeボックスのプライベート情報やロックしたアプリにアクセスするたびにパスワードを入力するのは面倒なものです。指紋を使用すると、プライベート情報へのアクセスが簡単になります。この方法は、便利で安全です。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。

これで以下の操作を行うことができます。

- **指紋によるSafeボックスへのアクセス:**  **ファイル** を開いて **Safeボックス** をタップすると、指紋を使用してSafeボックスにアクセスできます。
- **アプリロックでロックされたアプリへの指紋によるアクセス:** 指紋を使用して、ホーム画面のロックされたアプリを開くことができます。

位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報に対する権限をアプリに許可すると、アプリは常に端末の位置情報を取得できるようになります。悪意のあるアプリが端末の位置情報を取得すると、損害を被ったり不正が行われたりする危険にさらされます。位置情報サービスは、必要に応じて有効/無効にすることができます。プライバシーを保護し、セキュリティを確保するために、アプリに許可されている権限を定期的に監視・管理してください。

位置情報サービスの有効化/無効化:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** に移動し、**現在地にアクセス** を有効または無効にします。位置情報サービスを有効にする際には、適切な測位モードを設定することもできます。位置情報サービスを無効にすると、プリインストールされているソフトウェア(端末探索など)を除き、端末のすべてのアプリとサービスが位置情報を収集・使用できなくなります。これらのアプリを使用しようとすると、システムから位置情報サービスを有効にするよう求められます。

-  機能は通信事業者によって異なる場合があります。
- Huaweiは、個人情報を持定して収集するためではなく、ユーザーに必要な機能とサービスを提供する目的でのみ位置情報データを使用します。

屋内測位の支援機能の設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** > **詳細設定** に移動し、Wi-FiおよびBluetoothのスキャンを有効または無効にします。Wi-FiネットワークとBluetooth端末のスキャンによって、屋内測位の精度が向上します。

PrivateSpace

PrivateSpace の有効化

端末で写真などを見せているときに、個人情報が他人に見られることが心配になる場合があります。PrivateSpaceを使用すると、指紋やパスワードでしかアクセスできない、端末内の保護されたスペースに個人情報を格納することができます。

-  最大3人のユーザーを、端末と PrivateSpace の ユーザー に追加できます。**設定** > **ユーザーとアカウント** > **ユーザー** > **ユーザーを追加** に3人のユーザーをすでに追加している場合、PrivateSpace にユーザーを追加することはできません。

PrivateSpaceの有効化: 初めてPrivateSpaceを使用する場合は、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **有効** に移動し、画面の指示に従ってPrivateSpaceを作成します。

-  1ユーザーにつき、1つのPrivateSpaceのみ作成できます。

MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早くMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。端末の再起動後、まず自分のパスワードを使ってMainSpaceにログインする必要があります。これにより、ロック画面からMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。

PrivateSpaceへの移動: 指紋やパスワードを使用して、ロック画面から直接PrivateSpaceに入ることができます。MainSpaceで  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **ログイン** からPrivateSpaceに移動することもできます。

PrivateSpaceの終了: PrivateSpaceを終了すると、PrivateSpaceが使用するすべてのシステムメモリが解放されます。必要に応じていつでもPrivateSpaceに切り替えることができます。PrivateSpaceを終了するには、 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **終了** に移動します。

PrivateSpaceの削除: PrivateSpaceを削除すると、PrivateSpace内に格納されているすべてのアプリとデータが完全に削除され、このデータを復元できなくなります。PrivateSpaceは以下の方法で削除できます。

- MainSpaceから  **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** に移動し、 > **PrivateSpaceを削除** をタップします。
- PrivateSpaceから  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **削除** に移動します。

PrivateSpace を非表示にする

PrivateSpaceのすべての履歴を他の人から見えなくしたい場合、MainSpaceで、PrivateSpaceメニューを隠して、PrivateSpaceの存在を隠しておくことができます。

PrivateSpaceに入り、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** から **PrivateSpaceを隠す** を有効にします。PrivateSpaceメニューを非表示にすると、ロック画面で自分の指紋やパスワードを使うことでしかPrivateSpaceを利用できなくなります。

PrivateSpace と MainSpace 間でのファイル転送

プライベートの写真、音楽、ビデオを自分のPrivateSpaceとMainSpaceの間ですばやく転送します。

- 1 PrivateSpaceで、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** に移動します。
- 2 MainSpaceからPrivateSpace または PrivateSpaceからMainSpace をタップします。
- 3 画面の指示に従ってファイルを選択し、目的の場所に転送します。
 -  ご利用の端末またはNMカードに保存されたファイルをMainSpaceからPrivateSpaceに転送できます。端末に直接保存されているファイルのみPrivateSpaceからMainSpaceに転送できます。クラウドに保存されているファイルは、PrivateSpaceとMainSpaceの間で転送することはできません。一部の端末では、NMカードがサポートされていません。

デフォルトでは、転送された画像ファイルは **ギャラリー** > **アルバム** > **Shared images** に、ビデオファイルは **ギャラリー** > **アルバム** > **Shared videos** に保存されます。

新しい端末への PrivateSpace データの移行

PrivateSpaceをコピーすることで、個人的なファイルを別の端末に素早く移行できます。

-  • データを移行する前に、新しい端末に十分な空き容量があることを確認してください。
 - 別の端末に移行できるデータは、写真、音声ファイル、ビデオです。
- 1 新しい端末のPrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **Space Clone** > **この端末は新しい端末です** に移動してQRコードを生成します。
 - 2 古い端末のPrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** > **Space Clone** > **この端末は古い端末です** に移動します。画面の指示に従って新しい端末に表示されているQRコードを読み取ります。または、古い端末を新しい端末のWi-Fiアクセスポイントに手動で接続します。接続が確立したら、該当するデータを選択し、古い端末から新しい端末にデータを移行します。
-  移行処理中はいつでもファイルの移行を取り消すことができ、接続を再確立すると、処理が続きから実行されます。

PrivateSpace のパスワードのリセット

パスワードが多すぎて覚えきれないことはないでしょうか。パスワードを忘れたら、PrivateSpaceに入れないのでしょうか。セキュリティ質問を設定すれば、PrivateSpaceパスワードを忘れたときにセキュリティ質問に回答し、PrivateSpaceのパスワードをすばやくリセットできます。

セキュリティ質問機能の有効化: PrivateSpaceに入り、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** に移動します。**パスワード保護** をタップし、画面の指示に従ってMainSpaceおよびPrivateSpaceのパスワードを入力してパスワードに関するセキュリティ質問の画面を開きます。

セキュリティ質問の設定: セキュリティ質問をタップし、事前に設定されたセキュリティ質問のいずれかを選択するか、自分で独自に質問を作成します。セキュリティ質問の回答を入力し、**完了** をタップしてセキュリティ質問機能を有効にします。

-  セキュリティ質問機能を有効にした後で、セキュリティ質問とその回答を変更することもできます。

PrivateSpaceのパスワードの変更: MainSpaceに入り、 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー** > **PrivateSpace** へ移動します。⋮ > **パスワードのリセット** をタップします。画面上の指示に従ってMainSpaceのパスワードとセキュリティ質問の回答を入力し、PrivateSpaceのパスワードを設定します。

-  PrivateSpaceでパスワードに関するセキュリティ質問を設定してからでないと、MainSpaceでPrivateSpaceのパスワードはリセットできません。
-  PrivateSpaceが非表示で、PrivateSpaceのリセット画面に入ることができない場合: MainSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **その他の設定** > **すべての設定を表示** に移動して **OK** をタップし、PrivateSpaceを表示します。

アプリロックの有効化

アプリロック機能では、重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められま

す。アプリロックによって、プライベート情報をさらに保護するレイヤーが追加され、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化:  **設定** を開きます。セキュリティとプライバシー > **アプリのロック** に移動します。初めてアプリロックを開く場合、**ロック画面のパスワード** または **カスタムPIN** を **アプリのロック** 確認パスワードとして選択します。**アプリのロック** 画面で求められているパスワードを入力して、ロックするアプリを切り替えます。

アプリロックパスワードの設定: **アプリのロック** 画面の  をタップし、**パスワードタイプ** をタップします。**ロック画面のパスワード** または **カスタムPIN** を選択します。

パスワードのキーチェーンを使用する

パスワードのキーチェーンではパスワードが保存され、入力されるので、端末のアプリへのログインがより安全かつ簡単になります。

パスワードのキーチェーンの有効化または無効化: パスワードのキーチェーンはデフォルトで有効になっています。端末の更新後には、次の手順に従ってパスワードのキーチェーンを有効にします。

- 1 **ロック画面のパスワード**を入力して、**パスワードのキーチェーン**設定にアクセスします。 **設定** を開いて、セキュリティとプライバシー > **パスワードのキーチェーン** に移動します。
 - 2 **ロック画面のパスワード**を入力して、**パスワードのキーチェーン** 画面にアクセスします。
 - 3 **パスワードのキーチェーン** を有効にします。最初にアプリにログインした場合、またはログアウト後、**保存** を選択すると、ユーザー名とパスワードが保存されます。次回ログイン時、顔認証など、選択した方法を使用して自動的にユーザー名とパスワードを入力し、アプリにログインします。
 - 4 アプリごとに **自動入力設定** を有効または無効にします。アプリの自動入力機能が有効になっている場合、ログイン時に顔、指紋、またはロック画面のパスワードを使用してパスワードを入力できます。この機能が無効になっている場合、ユーザー名とパスワードを手動で入力する必要があります。
-  **パスワードのキーチェーン**は、バージョンに制限があるため一部のアプリでは機能しません。

Wi-Fi とネットワーク

Wi-Fi

Wi-Fi ブリッジで Wi-Fi ネットワークを共有する

Wi-Fiブリッジを使用すると、パスワードを知らせることなく自宅のWi-Fiを友人やゲストと共有できます。

Wi-Fiブリッジの有効化:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **個人アクセスポイント** > **その他** に移動して **Wi-Fiブリッジ** を有効にします。

Wi-Fiブリッジの設定: **Wi-Fiブリッジの設定** をタップし、共有Wi-Fiネットワークの一時的な名前とパスワードを表示または設定します。

友人やゲストに一時的な名前とパスワードを提供すると、この機能を無効にするまで、その情報を使用してネットワークに接続できます。

 Wi-Fiブリッジを使用すると、いつでも最大4台の端末を自宅のWi-Fiに接続できます。

Wi-Fi+ のオン/オフ

 **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** >  > **Wi-Fi+** に移動して、**Wi-Fi+** の有効化または無効化を選択します。

-  ● Wi-Fi+を有効にすると、端末は利用できる最適なネットワークに自動的に接続します。
- エリア内のWi-Fi+信号の強度によっては、Wi-Fi+はモバイルデータネットワークに自動的に切り替わる場合があります。モバイルデータ通信を使用してビデオなどのサイズの大きいファイルをダウンロードまたは表示すると、追加料金が発生することがあります。高額なデータ通信料金を防ぐには、適切なデータプランに加入してください。
- Wi-Fi+を有効にした後は、手動でWi-Fiを無効にした場合でも、以前に接続したことのある有効なWi-Fiネットワークが検出されると、端末はWi-Fiネットワークに自動的に切り替わる場合があります。

アプリと通知

ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリ > ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しし、「閉じる」にドロップするとアンインストールの確認メッセージがポップアップされるので、OKをタップすると、ツインアプリ機能を無効にできます。

アプリ権限をカスタマイズして端末を自分好みの方法で使用する

サードパーティのアプリにあまりに多くの重要な権限を渡したり、個人情報を開示したりすることに懸念はないでしょうか。アプリごとの権限を監視し、不要な権限は拒否できます。

 権限を無効化すると、アプリの機能が利用できなくなる場合があります。例えば、地図アプリの位置情報に関する権限が無効化されると、地図アプリは位置情報サービスや案内サービスを提供できなくなります。

アプリ権限の設定: 不要な権限を拒否したい場合があります。 **設定** を開き、**アプリ > アプリ** に移動し、アプリを選択してから **アプリ情報** 画面上の **権限** をタップし、不要な権限を有効または無効にします。

権限の確認および変更: 重要な権限を許可されているアプリを確認したい場合があります。 **設定** を開き、**アプリ > 権限** をタップし、表示する権限を選択して、アプリの横にあるスイッチをタップしてアプリの権限を許可または拒否します。

サウンドと表示

通知の鳴動制限モードの設定

通知の鳴動制限モードでは、知らない人からの着信がブロックされ、選択した連絡先からの着信またはメッセージ受信の場合にだけ通知されます。



設定を開き、**サウンド > 通知の鳴動制限**に移動してから以下を実行します。

- **通知の鳴動制限**: **通知の鳴動制限**をタップすると、この機能を有効/無効をすばやく切り替えられます。
- **スケジュールルール**: 設定した時間(週末や夜など)に鳴動を制限します。**時間帯の設定**をタップし、期間と繰り返しサイクルを設定します。
- **重要な連絡先からの着信の許可**: **通話**選択し、**連絡先のみ** または **お気に入りのみ**を選択します。
- **重要な連絡先からのメッセージの許可**: **メッセージ**選択し、**連絡先のみ** または **お気に入りのみ**を選択します。
- **同一発信者による再発信の鳴動許可**: **同一発信者による再発信**はデフォルトで有効になっています。同じ電話番号から3分以内に複数回電話がかかると、端末が鳴動します。

目の疲れを防止するブルーライトカットモードの有効化

端末を長時間見つめていると、目が疲れたり痛くなったりすることがあります。ブルーライトカットモードは、ブルーライトを効果的に低減して画面を暖色系の色に調整することで、目の疲れを和らげて視力を保護します。

ブルーライトカットモードの有効化:  **設定**を開いて、**画面 > 視力保護**に移動し、**視力保護**を有効にします。ブルーライトカットモードアイコン  がステータスバーに表示されます。ブルーライトカットモードを有効にするとブルーライトが一部カットされ、画面が黄色がかった色になります。

ブルーライトカットモードの簡単な有効化/無効化: ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。通知パネルでショートカットパネルを展開し、 を有効/無効にします。

設定した時間にブルーライトカットモードを有効化: 毎日設定した時間にブルーライトカットモードが有効になるように端末を設定できます。ブルーライトカットモードが無効な場合、 **設定**を開き、**画面 > 視力保護**に移動して**時間帯指定済み**を有効にします。次に、希望の**開始時間**および**終了時間**を設定します。

ブルーライトカットモードの色温度の調整: ブルーライトカットモードを有効にすると、ブルーライトが一部カットされ、画面が軽く黄色がかった色になります。色温度は必要に応じて調整してください。**視力保護**を有効にすると、色温度スライダーを調整して、画面の色を寒色系または暖色系にすることができます。

-  端末を30分使用した後は、10分間目を休めてください。
- 目を休めている間は、遠くを見るようにして目のピント調整の筋肉を緩め、眼精疲労にならないようにしてください。
- 正しいアイケアを習慣にすることで、眼の負担を軽減でき、視力低下予防になります。

ストレージ

メモリのクリーンアップの有効化

ストレージの空き容量が少なくなると、時間の経過とともに端末の動作が遅くなることがあります。メモリのクリーンアップを使用してストレージの空き容量を確保することで、システムパフォーマンスを向上させ、端末のスムーズな動作を維持できます。

 **オプティマイザ** を開き、**クリーンアップ** をタップしてメモリをクリーンアップし、キャッシュをクリアすることで、パフォーマンスを最適化します。それでもストレージ容量が不足する場合は、ストレージ容量をさらに解放するために特別クリーンアップを実行します。

スマートアシスタント

ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする

アプリを閉じたり、ホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動し、ナビゲーションメニュー を有効にします。ナビゲーションメニューが画面に表示されます。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**: ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**: ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**: ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

システム

ユーザー補助

色補正を有効にする

色補正は、端末で色覚異常に関連する補正を行うことができます。

 色補正を有効にすると、色覚が正常なユーザーには一部の色がわかりづらくなることがあります。

 **設定** を開き、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **色補正** に移動して、**色補正** を有効にします。**補正モード** をタップし、必要な色補正モードを選択します。

Select to Speak を使用する

画面で選択したコンテンツを読み上げてもらうには、Select to Speakを有効にします。

 **設定** を開き、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **Select to Speak** に移動して **Select to Speak** を有効にし、OK をタップします。  アイコンが画面の右下隅に表示されます。また、次のこともできます。

画像上のテキスト読み上げ:その他の設定... をタップし、**Read text on images** を有効にします。

Select to Speak を使用するには、  アイコンをタップし、画面上でテキストまたはテキスト付き画像をタップして、読み上げられるコンテンツを聞きます。

 この機能を動作させるには、3つのキーによるナビゲーション方法を使用する必要があります。

一般設定

システム言語の変更

必要に応じて、端末のシステム言語を変更することができます。

 **設定** を開き、**システム** > **言語と文字入力** > **言語と地域** に移動して、使用する言語を選択します。使用する言語がリストされていない場合は、**言語を追加** をタップして追加の言語を検索してください。**地域** をタップして、国/地域を選択することもできます。システムインターフェースは、選択した地域の慣習に従って表示されます。

メモリおよびストレージのステータスの確認

長時間端末を使用すると、メモリとストレージがどのくらい残っているか心配になります。端末のメモリとストレージの情報を表示すると、メモリとストレージの使用状況を監視することができ、クリーンアップ実行の目安となります。

 一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。

 **設定** を開いて **ストレージ** をタップし、メモリの使用状況を確認します。使用可能なストレージ容量に基づいて、適切なタイミングで空き容量を確保します。

空き容量の確保(推奨):クリーンアップを選択すると、アプリの使用状況の詳細を表示できます。また、スキャン結果に基づき、推奨に従ってシステムのクリーンアップを実行したり、対象を指定してクリーンアップを実行したりできます。

システム更新

オンラインによる端末システムの更新

-  更新をインストールする前に、端末をインターネットに接続します。オンライン更新は、データ通信量を消費するため、Wi-Fiネットワークに接続することをお勧めします。
- 更新中は、電池残量が30%を超えていることを確認してください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報危険にさらされたりする可能性があります。端末はオンラインで更新するか、端末と購入証明書を正規のファウエイカスタマーサービスセンターにお持ちください。
- 端末を更新する前に、重要なデータをバックアップしてください。
- 更新後、電子バンキングやゲームアプリなどの特定のサードパーティ製アプリは、新しいシステムに適合しない可能性があります。適合の問題を解決するため、そのようなサードパーティ製アプリを定期的に更新してください。

1  **設定** を開きます。

2 **システム > ソフトウェア更新** に移動します。システムに新しいバージョンが検出されたら、**新しいバージョン > ダウンロードしてインストール** に移動します。

-  システム更新を無効にするには、 に移動し、**Wi-Fi経由で自動ダウンロード** を無効にします。

端末の更新にはしばらく時間がかかります。更新中は何もしないでください。更新後、端末は自動的に再起動します。

法律上の注意事項

法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可



HUAWEI、HUAWEI



と は Huawei Technologies Co., Ltd の商標または登録商標です。

Android™ は Google Inc の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltd. によるこの商標の使用はライセンス供与されています。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huawei は、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huawei は他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提

供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huawei は、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に関しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果（ソフトウェアと本製品の非互換性など）に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huawei は、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準の Android プラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合もあります。Huawei はこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む（ただしこれらに限定されない）明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲（この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない）は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

個人情報とデータセキュリティ

本端末で一部の機能またはサードパーティ製アプリケーションを使用した結果、個人情報やデータが失われたり、第三者によるアクセスが可能になってしまう恐れがあります。個人情報を保護するために、以下に示す措置を講じることをお勧めします。

- 本端末を安全な場所に置いて、不正に利用されないようにします。
- 本端末上で画面ロックを設定し、そのロックを解除するパスワードやロック解除パターンを作成します。
- 個人情報をSIMカード、メモリ カード、または本体のメモリに定期的にバックアップします。別の端末に変更する場合、必ず以前の端末の個人情報を移動または削除します。

- サードパーティ製アプリケーションは必ず正規の場所から入手してください。ダウンロードした他社製アプリケーションに対して、ウイルスチェックを実行してください。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。
- 一部のアプリケーションでは位置情報の要求や送信を実行します。結果的に、サードパーティが位置情報を共有することができる場合があります。
- サードパーティ製アプリケーション提供者のなかには本端末の検出情報や診断情報を収集する場合がありますが、これは自社の製品やサービス向上のために使用されます。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。

ヘルプの取得

付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、**設定 > システム > 端末情報 > 法律情報** をタップしてください。

詳細については、<https://consumer.huawei.com/jp/> を参照してください。

本書は参考用です。色、サイズ、および画面のレイアウトを含む（ただしこれらに限定されない）実際の製品は異なる場合があります。この取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または非明示の保証を行うものではありません。

ご利用の国や地域の最新のホットラインおよびメールアドレスについては、<https://consumer.huawei.com/en/support/hotline> をご確認ください。

モデル: MAR-LX2J

EMUI 9.1_01